

比叺道 マッコ

深江 - 有馬 12km



みちじん 苦節をまたる?

ここから下り ルンルン

魚屋道 最大の難所

ドビワリ... 文政10年(1827)芦屋・打出の村と住吉・横屋・魚崎・田中・野崎・因本の6ヶ村の間を流す水争いのたぎりの地名である。

六甲山の地名... 一般的には、神功皇后が朝鮮出兵からの帰途、百舌を食った廣坂王ら六人の首を甲につけ、この山に埋めたのを名づけたと伝説が知られる。実際には諸説あり、難波(大阪)の対岸。訓「向→(向かい)」から昔に名前が六甲の字をとり、口回りとよぶようになった説がある。

保久良神社... 延喜式にのる古社で、境内からは石器や弥生式土器を出土する。本殿周辺には日本庭園の源流といわれる神鳥岩や三交岩などの巨石が点在している。古くからの祭祀の場であった。また、鳥居前には「難のつ火」とよばれる石灯籠があり、沖をく船の標識となっていた。

森稲荷神社... 社伝では、霊龜元年(715)卯日卯日の夜、深江の岸辺で光るものがあり、村人が集ると、「これは稲荷の神の靈であるが、この山にまつらした」と告げたので、村人は現在の地にまつり、毎年2日と卯の葉まつりと称し、習俗を行ってきた。

朱鳥居... 昭和2年に建てられた高さ5.8mの大きな鳥居。可成りに、下田愚山人が「革命紀行」(文化元年1804)に記している「稲荷之社従是三町」の道標がある。

